



～手洗いの効果と正しい方法～

私たちが日常生活の中で触れる電車のつり革やエレベーターのボタン、ドアノブなどには、目に見えない病原菌やウイルス（以下、「病原菌等」をいう。）がたくさん付いています。もし、手が触れた所に病気や食中毒の原因となる病原菌等が付いていたら……

このような病原菌等が手から直接あるいは触った食べ物を介して体内に入り込んでしまうこともありますので、健康被害を防ぐためには、正しい丁寧な手洗いを行うことがとても大切です。



①流水のみによる手洗い

石鹸が無い場合など、水洗いだけでも表面の埃や土などの汚れを洗い流して、病原菌等も減少させることはできます。

②石鹸や手洗用洗剤を使用した手洗い

石鹸や洗剤の表面活性作用により皮脂周辺の汚れを浮かして効果的に洗い流せますので、洗浄効果はさらに高まります。

③アルコールによる消毒

消毒用アルコールには病原菌等を殺菌する効果があります。

④ ①、②、③全てを行うことにより効果が発揮されます。

ただし……

正しい洗い方を行わないと病原菌等が残ってしまいます。

また、アルコールによる消毒は流水による手洗い後に水分が残っているとアルコール濃度を薄めて十分な消毒効果を発揮できない場合があります。

アルコールは、水分を十分に拭き取ってから使用しましょう。病原菌等にはO157のように少量でも食中毒を起こすものがありますので、食事を作る前、生ものや汚染の可能性のあるものを触った後や盛付け前など、こまめな手洗いと消毒を心がけましょう。



※検査に関するご相談・お問い合わせ先

公益財団法人 北九州生活科学センター

北九州本所

北九州市戸畑区中原新町 1-4

TEL 093-881-8282 FAX 093-881-8333

福岡事業所

福岡市博多区千代 1-2-4 福岡生活衛生食品会館 4階

TEL 092-642-1001 FAX 092-642-1002